



# ひばり

<http://www.meguro.ed.jp/meguro3jj/>  
mail meguro-3jp@meguro.ed.jp

目黒区立第三中学校

学校だより NO. 16  
(通巻74)

平成24年(2012)  
2月1日(水)

東京都教育委員会人権尊重教育推進校・目黒区教育委員会教育開発推進校

## 『研究発表会』(1/16) 無事終了

校長 飯野 博史

1月16日(月)、本校の2年間にわたる「人権教育」の研究・実践を発表しました。寒い一日でしたが、区内外から約110名の方が来られました。全学級公開授業の後、体育館で研究発表、講演会を行いました。授業を見てくださった方から「どの学級の雰囲気も落ち着いていて素晴らしい」「先生方と生徒に信頼関係がありますね」など、うれしい感想をたくさんいただきました。PTA役員の方にはお忙しい中、受付などのお手伝いをしていただきました。ありがとうございました。今後も人権教育の推進に取り組んでまいります。

## 人権講演会『ブルーリボンに祈りを込めて』(12/16)

12月16日(金)横田 滋様、早紀江様をお迎えし、「人権講演会」を開催しました。当日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」の最終日で、政府主催の様々な催しがありお忙しい中でしたが、本校の生徒たちのために来てくださいました。めぐみさんについて事前学習をしていたので、生徒たちは真剣にお二人のお話を聞いていました。

めぐみさんが拉致されたときのこと、ご両親がめぐみさんを懸命に探し続けたこと、北朝鮮にいと分かってから様々な活動を続けてこられたことなど、横田さんご夫妻のお話に胸を締め付けられるようでした。拉致問題の実態について理解を深めることができました。一日も早く、めぐみさんがご両親の元に帰ってこられることを祈っています。

事後学習で感想文をまとめました。各学年一編ずつ紹介します。

### ○1年生の感想文

この度はお忙しいところ、わざわざ第三中学校に足を運んでいただき、ありがとうございました。

私は横田さんのお話を聞いて、拉致問題は他人事ではないのだと実感しました。それは実際に拉致によって被害にあった横田さんでさえ「こんなことになるなんて思いもしなかった」とおっしゃっていたからです。しかも、北朝鮮の人に拉致される瞬間の出来事を聞いたとき、ごく普通の生活の中でいきなり起こったことだというのが分かったからです。そのため改めて拉致の怖さを感じました。

もし私の身近な人が拉致にあい会えなくなってしまうたら、とても言葉では言い表せないほど悲しいと思うし、他のことなんて考える余裕さえなくなると思います。しかし横田さんは世間に拉致について分かってもらおうと一生懸命訴えてきました。そのため私も拉致問題について知ることができました。

私はこれから他人事ではない拉致問題を軽く考えずに、横田めぐみさん含め拉致被害者のみなさんが帰国できるように応援していきたいと思います。本当にありがとうございました。

## ○2年生の感想文

私は今回の講演会の前にめぐみさんについての本を読みました。どんなことがあって、どうして拉致されてしまったのか、その本を読んでたくさんのことが分かりました。実際に身近でこんなことが起こってしまったら、私は絶対に見て見ぬふりをできないと思います。めぐみさんと同じ年くらいの私が家族から離され、急に一人になってしまったら、と考えるだけで辛く、恐ろしくなります。

講演会で、めぐみさんが勉強していたところに新しくまた拉致されてしまった人（曾我ひとみさん）がきて、お互いここまで連れてこられたまでの話をし、めぐみさんが「こわかったね、こわかったね」と言っていたと聞いたとき、本当に涙が出そうになりました。きっとめぐみさんは心の広い、とても優しい人なんだなと思いました。

そして、死亡したと言われ遺骨を見せられても「娘は生きている」と信じ続けたご両親も本当にめぐみさんに会いたい、絶対にさがしてあげたいという心が強いんだなと思いました。今回、辛い話だと思いますがそれを話しに来てくださり、私たちは拉致問題について深く知ることができました。めぐみさんとご両親が再会できることを願っています。お忙しい中、本当にありがとうございました。

## ○3年生の感想文

先日は僕たち三中生のために人権講演会にお出でいただきありがとうございました。前もって資料を読んだり、DVDを見たりして拉致問題についての理解を深めていましたが、改めて被害者の方にお話を聞かせていただくと拉致の怖さやご家族の苦しみなど、より拉致の理解を深めることができました。

とくに、日本の国民が関心をもたずに拉致という悲劇が忘れ去られてしまったり、「日本と北朝鮮の関係が悪くなるかもしれないから」といった理由で、日本で生きるという幸せを奪われてしまった人たちを助けようとしなかったりすることは絶対にあってはならないと思いました。

僕は今回の講演会をきっかけに、この貴重な体験で知ったことを様々な人に伝えなくてはならないと思いました。そして国民が「知る」ということから解決に向かうことを切に願っています。

拉致問題は悲しい問題であり、みんなが向き合う重要な課題だと思います。



拉致問題についてお話をしてくださる横田さんご夫妻



生徒会役員からのお礼

### 《生徒の活躍》

○ 銅賞 管楽八重奏 東京都吹奏楽アンサンブルコンテスト 1/14

「夢への冒険」(福島 弘和作曲)

2年女子8名

○ 目黒区教育委員会児童生徒表彰 1/31

Jリーグアカデミープレイヤー、国際ユーストーナメント準優勝 2年男子

全国ユースフライトエアロビク選手権大会 全国大会出場 3年女子